

	<p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - SDGsの目標を調べ、日本の長期エネルギー戦略に関連する目標と重視すべきターゲットを抽出し、それらのターゲットの関連性について考える。 - 各国のSDGsの達成状況を確認し、目標達成に向けた課題について整理する。 <p>【授業の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> - チーム分け。 - チーム内で事前学修の調査結果を議論し、エネルギービジョンの候補を複数提案する。さらに、候補を絞り込むための調査方法や必要となるデータについて検討し、チーム内で役割を決めて調査を行う。 <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 授業で行った調査を継続する。 	
2	<p>エネルギーシステムの将来像をシミュレーションする。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 調査データに基づき、表計算ソフトなど（学生の理解度や専門性に応じて自作プログラムも可）を活用してエネルギービジョンのシミュレーションを行う。エネルギービジョンとして複数の方向性が考えられることから、チームごとに対象を定めて将来予測を実施する。仮説検証手段としてのシミュレーション技術を身につけるとともに、統計的な推量方法や専門知識を活用した考察（例えば熱力学の知見を用いた効率評価）などにも挑戦する。 	C2
	<p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - エネルギーシステムの将来予測を行う際に必要と考えられる手法や計算方法を整理する。 <p>【授業の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 事前に調べた計算方法を検討し、妥当性を確認する。 - エネルギーシステムの将来像に関するシミュレーションを実施する。 <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 授業で行ったシミュレーション結果を整理する。 	
3	<p>エネルギービジョンの検討結果について進捗報告を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 前回までの議論に基づいて進捗状況を報告する。各チームの発表内容や質疑応答を参考にして、取り纏めに向けた課題を確認する。 	A3
	<p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プレゼンテーションソフトを用いて発表資料を作成する。 <p>【授業の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> - チームごとにエネルギービジョンの検討結果に関する進捗を報告する。 - 質疑応答によって検討事項を把握する。 <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 進捗報告に対する意見やアドバイスを踏まえて、最終発表に向けた準備を行う。 	

4	<p>日本のエネルギービジョンについて理由を付して提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> - チームごとに将来予測の結果を発表する。発表内容に関する議論を通じて検討結果を整理し、どのようなエネルギービジョンが望ましいか理由を付して提案する。 	A3
	<p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - プレゼンテーションソフトを用いて発表資料を作成する。 <p>【授業の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> - チーム毎にエネルギービジョンを提案する。 - 質疑応答。 <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 発表と討論の結果を踏まえて、各自のエネルギービジョンを明確にする。 	

【評価】

本科目は、①演習・小テスト・事前課題 30 点、②期末試験 60 点、③課題調査・発表 10 点の内訳で採点し、合計点 60 点以上を合格とする。

上記 4 週分の課題実習に関する成果は、③の 10 点分として扱う。

③の採点はルーブリックに基づいて行い、問題発見力・構想力、問題解決力、情報活用基礎力、情報技術応用力、チームワーク力を中心に評価する。